

(公社)生体制御学会

令和元年度事業報告

A. 会務を円滑に運営するために次の会議を行った

1. 総会

平成 31 年 6 月 2 日 (日) 午前 9 時 30 分～10 時 20 分

(名古屋市立大学医学研究科・医学部研究棟 11 階 講義室 A)

2. 理事会

平成 31 年 4 月 13 日 (土) 午後 6 時～午後 8 時 (東洋医学研究所®)

令和元年 6 月 2 日 (日) 午後 5 時～午後 7 時 (東洋医学研究所®)

令和元年 12 月 7 日 (土) 午後 5 時～午後 7 時 (東洋医学研究所®)

令和 2 年 3 月 1 日 (日) 午後 6 時～午後 8 時 (東洋医学研究所®)

3. 評議員会

令和元年 11 月 24 日 (日) 午後 4 時～7 時 (ルブラ王山)

4. 管理部門会議

令和 2 年 2 月 2 日 (日) 午後 5 時 30 分～午後 7 時 30 分 (東洋医学研究所®)

5. 事業部門会議

令和 2 年 2 月 8 日 (土) 午後 6 時～午後 8 時 (東洋医学研究所®)

B. 目的を遂行するために次の事業を行った

1. 研究活動

イ. 各研究班活動

各研究班が月 1 回研究日を設けて研究活動を行った (別紙)

①疼痛疾患班

②不定愁訴班

③生活習慣病班

④情報・評価班

⑤生体防御免疫疾患班

⑥古典文献(鍼灸)研究班

ロ. 研究班班長会

日時：毎月第 3 木曜日 午後 8 時 30 分～午後 10 時

場所：東洋医学研究所®

内容：各班の研究活動報告及び計画

情報交換

研究における問題点の検討

研究班長勉強会

実施日

令和元年 6 月 20 日 (木) 研究班長会 各研究班活動報告

7 月 18 日 (木) 研究班長会 各研究班活動報告

- 8月 1日 (木) 第37回(公社)生体制御学会学術集会発表練習
- 8月 8日 (木) 第37回(公社)生体制御学会学術集会発表練習
- 8月15日 (木) 第37回(公社)生体制御学会学術集会発表練習
- 9月19日 (木) 研究班長会 各研究班活動報告
- 10月17日 (木) 研究班長会 各研究班活動報告
- 11月21日 (木) 研究班長会 各研究班活動報告
- 令和2年 2月20日 (木) 研究班長会 各研究班活動計画

2. 第37回(公社)生体制御学会学術集会の開催

日 時：令和元年8月25日(日) 午前9時～午後3時30分

場 所：名古屋市立大学医学部総合情報センター川澄分館さくら講堂(図書館3階)

内 容

一般口演

1. 間質液中グルコース濃度と心拍変動の時間的コヒーレンス

東北大学工学部電子工学科 湯田 恵美

2. 腰部脊柱管狭窄症に対する鍼治療の文献調査

筑波大学大学院 人間総合科学研究科 スポーツ医学専攻 山本健人

パネルディスカッション

演 題：「睡眠と各分野の関連性」

司 会：名古屋市立大学睡眠医療センター長

中山明峰

パネラー：名古屋市立大学睡眠医療センター

三原丈直

名古屋市立大学歯科口腔外科 いけもり矯正歯科

池森宇泰

(公社)生体制御学会研究部長

皆川宗徳

水谷病院

森本浩之

名古屋市立大学

有馬菜千枝

教育講演 市民公開講座 (公社)全日本鍼灸学会認定指定研修C講座

「睡眠覚醒の最新脳科学」

講師：名古屋大学環境医学研究所神経系分野2教授

山中章弘

司会：愛知医科大学医学部生理学講座教授

岩瀬 敏

特別講演 市民公開講座 (公社)全日本鍼灸学会認定指定研修C講座

「体内時計形成から見た睡眠と心身の発達」

講師：熊本大学名誉教授 日本眠育協議会理事長

三池輝久

司会：名古屋市立大学睡眠医療センター長

第37回公益社団法人生体制御学会学術集会長

中山明峰

3. 学術研修会の開催(資料P7～17)

4. 生涯教育制度・愛知県鍼灸生涯研修会の実施(資料P18)

5. (公社)全日本鍼灸学会認定指定研修C講座受講者名簿(資料P19～21)

6. 学会誌の発行および準備

イ. 生体制御学会誌の発行

生体制御学会誌第34号を令和元年6月に発行した

ロ. 生体制御学会誌の発行準備

生体制御学会誌第35号の編集準備作業を行った

7. 広報活動

定例講習会・愛知県鍼灸生涯研修会の開催予定を掲載依頼した
第 295 回から第 299 回までの定例講習会・愛知県鍼灸生涯研修会の予定を医道の日本社編集部、医学書院 WEB 版、医学界新聞に連絡した

8. (公社)生体制御学会活動内容の整理保管した

イ. (公社)生体制御学会会員の業績を整理保管した

ロ. 第 37 回(公社)生体制御学会学術集会をアルバムに整理保管した

9. 会員相互の連絡と組織の拡充 (資料 P22)

イ. 会員の拡充に努力し、学会の啓発を図った

ロ. 当学会事務所との連絡を密にして、会員の入会と退会及び住所変更等の把握に努力した

10. 女子会員の交流を推進し、女子部の拡充を図った

イ. 女子部懇親会を開催し、今後の女子部の活動について話し合うとともに親睦を深めた

ロ. 愛知県鍼灸マッサージ師会の女子会員に、定例講習会での名古屋市立大学睡眠医療センター認定睡眠育成士認定講座と鍼灸学校学生向け企画の案内を発送した

11. 学会啓発活動

令和 2 年 3 月 6 日 (金)

中和医療専門学校が推薦する卒業生金森奈美さんを、生体制御学会賞として表彰し表彰状と記念品を授与する

令和 2 年 3 月 14 日 (土)

名古屋医健スポーツ専門学校が推薦する卒業生久田晴菜さんを、生体制御学会賞として表彰し、表彰状と記念品を授与する

令和 2 年 3 月 16 日 (月)

学校法人専門学校名古屋鍼灸学校が推薦する卒業生高瀬真由子さんを、生体制御学会賞として表彰し、表彰状と記念品を授与する